

Be Proactive!

校内研究便り ③
令和5年6月28日
研究推進部

★～6月20日(火)研究部会より～★

6月20日の研究部会では、各学年における児童の実態や目指す児童像を各部会で共有しながら、目指す児童像やそれに向けての取組について話し合いました。学年を通して共通している児童の姿が見えてきたり、取組のアイデアが出たり、今後につながる話し合いをすることができました。

7月28日(水)、8月30日(水)には、リーダーインミーの研修があります。今回各部会から出た目指す児童像と研修内容から得たことを照らし合わせながら、本校の目指す児童像を皆さんで検討し、10月までにまとめていきましょう。

こんな話し合い
をしました!



学力向上部

各学年から出てきた「実態」や「求める児童像」から、キーワードを挙げていきました。

課題

めあて

伝える

考え

最後まで

目標

<ポイント> 一方通行な学習にならないで、双方が学び合えるように・・・
児童の成長した姿が、きちんと見取ることができるように・・・

このことを意識して、学力向上部として、最終到達目標を決めました!

学力向上部の「目指す児童像」

自ら課題を見つけて取り組み、
自分の考えを伝え合い、高め合う児童



特別活動部

各学年の児童実態を抽出していただき、いくつかの共通点を感じました。

- 「係や当番には積極的」「任された仕事はこなせる」
- △「自分から考える、見通しをもって次を見据えた行動が足りない」「相手を考えた意見の伝え方が足りない」
- ×「他者意識がない、自分中心」「打たれ弱い。やりたくないは失敗への恐れへの裏返し」「自信をもって意見を出せない」

コロナでできなくなったことも子供たちに影響していることも強く感じます。

今回の検討で目指す児童像までたどり着けませんでした、今後各部会から様々な取り組みが発信される中、限られた2か年計画の中で、実施していく取組をどう絞るのか、どこに目標を見据えるかの重要性を感じました。



L I M部

L I M部では、生活面での様子について話し合いを行いました。学年ごとに発達段階のちがいがありますが、共通点も多くありました。

〈児童の実態〉

- 友達と関わろうとするが、相手の気持ちを考えて行動できていないため、トラブルになってしまう。
- 決められた仕事はできる。やるべきことを判断して行動できる児童は少ない・・・。
- 自分の損得を考え、準備はするけど、片付けは・・・。
- 切り替えをしながら、時間を見て行動する児童がもう少し出てほしい。



〈目指す児童像〉

- 時間を見てやるべきことを判断する。
- 友達とよりよく関わろうとする。
- 決められたことはもちろん、自分から進んで行動する。



つまり・・・

自分で考えたことを実践し、
友達と関わる楽しみにふれながら、
目標に向かって努力できる児童

